

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

質問者	発言者	質問内容
6 森	<p data-bbox="277 284 424 510">森由紀</p> <p data-bbox="277 521 424 1093">健康福祉部長</p> <p data-bbox="277 1104 424 1373">森由紀</p> <p data-bbox="277 1384 424 2024">健康福祉部長</p>	<p data-bbox="450 284 1426 461">高齢者施策について4つ質問させていただきます。加西市の後期高齢者75歳以上の人口のうち要介護認定者の割合を教えてください。高齢者65歳以上74歳未満の人口と要介護認定者の割合を教えてください。介護サービスの利用度を教えてください。以上で1つ目の質問を終わります。</p> <p data-bbox="450 521 1426 842">まず、75歳以上の人口とそのうちの要介護認定者数、認定率、そしてサービス利用についてお伝えを致します。加西市における、本年5月末現在の75歳以上人口は7,562人、うち介護認定者は2553人で認定率は33.76%、そのうちサービス利用者は、2,109人で利用率は82.62%です。また、65歳以上74歳未満の人口とそのうち要介護認定者、認定率ですが、加西市における本年5月末現在で7,026人、うち介護認定者は282人、認定率は4.01%、そのうちサービス利用者は233人で82.64%となっています。</p> <p data-bbox="450 853 1426 1030">特養、老健、介護医療院の入所者の数でお伝えします。75歳以上の方では484の方が施設を利用されています。利用率は23.7%、サービス利用者うちの23.7%となっています。また、65歳から74歳の施設入所者については26人、11.16%となっています。</p> <p data-bbox="450 1093 1426 1314">ありがとうございます。2つ目の質問にはいります。地域で住み続けるためにサービスを受けながら自立生活を続けることがこれからの高齢化社会には必要だと思いますが、今現在サービスが必要にもかかわらず、未利用者の方もいらっしゃる。未利用者の方へのアプローチは何かされていますか、教えてください。</p> <p data-bbox="450 1384 1426 1794">加西市ではサービス利用が必要な方が円滑にサービスを受けていただけるように、まず、介護保険制度について、広報などで紹介をしている他、要介護認定をうけるきっかけとなる病気やお怪我の治療を受けられる病院や診療所などの医療機関との連携を図り、介護保険についてご案内を頂くように努めています。また、地域包括センターにおいては、保健師等の専門職が介護についてご相談を受けるだけでなく、お元気な時から相談できる関係性を気付くために、1人暮らしや高齢者夫婦の世帯、介護認定を受けるほどではないけれど、心身の昨日に不安のある方などに対し定期的な訪問を行い、相談しやすい体制と、いざという時の臨機応変な対応に努めています。</p> <p data-bbox="450 1805 1426 2024">訪問や相談の結果、一般的な情報提供で終了することもあります。それ以外に必要な関係機関への連携、紹介、介護認定の申請支援などを行っています。サービスの利用について、ご本人の拒否がある場合は、ご本人の思いに寄り添って、なぜ利用を拒否されるのかと申すことをしっかりお話を伺いながら、ご本人が拒否される場合でも、自立の観点から、サービスが必要と判断した場合</p>

## 女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

	<p>には、丁寧に説明をするとともに、ご本人の意志決定を尊重したサービスのご紹介なども実施しているところです。</p> <p>そのような対応でも、ご本人の意志が尊重できない場合には、サービス利用を見送る場合もありますが、その場合にはご本人の身体状況等を経過観察していくために、定期的に地域包括センターが訪問し様子を確認しております。定期訪問の際にもご本人のお気持ちに寄り添いながら、状況に変化があればすぐに対応をしているところでございます。また、ご本人がサービスの利用を拒否されることで、ご家族の介護負担が多くなることもあるため、介護者家族ともコミュニケーションをとり、ご家族のニーズに対しても対応できるように調整を行っているところでございます。</p>
森由紀	<p>ありがとうございます。3つ目の質問に入ります。日常生活が自立されている方から、要介護認定を受けておられる方まで自立の形は様々だと思えますが、それに対しての支援はどのようなことをされていますか。</p>
健康福祉部長	<p>個々の状態に応じた自立の支援ですが、対象者となる方についてその方の現在の身体的、精神的、社会的な状況を面接によって把握をしています。相談を深めていく中で、過去の生活習慣や生活歴等も確認しながら、これから先の予後予測をしつつ、必要な手段を提案しています。その方の状態に応じた自立を目指し、必要な介護サービスを提案すると共に、地域での活動の場の提案を行っています。介護保険のサービスのみならず、緩和型サービスや多様なサービス、見守りを兼ねた配食サービス、地域住民が中心に活動されているいきいき百歳体操やサロン活動、自費サービス、地域の移送支援等を視野に入れて紹介をさせて頂いています。また、地域包括支援センターでは、介護保険を申請され、要支援認定を受けられた方を担当しています。要支援状態の方は特に生活の仕方によって介護状態になることが予想されるとされていますので、ご本人の状態に応じて、現在維持されている心身の機能を今後も維持できるようご自身でできていることは維持していただけるようにサービス利用について慎重に提案しているところです。また、ご本人のモチベーションも大切ですので、その維持についても努めているところです。また、重度の介護状態となられた方であっても、その方の状態により残存機能を維持できる生活について提案をしたり、身体的にはご自身で何かをするということが難しい方であっても、意思決定をゆだねたり、家庭内での父や母・祖父母といった役割を維持できるよう、ご家族も含めた支援について提案をするなど、ご本人がいかなる状態であっても、その方らしい生活を可能な限り自己決定できるよう支援をしているところです。</p>
森由紀	<p>自立とはすべてを自分がするのではなく、自分でできないことは人に頼る力</p>

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

健康福祉部長	<p>をつけることだと思っています。高齢者の中には人に頼ることを申し訳なく思っている方も多く見受けられます。個人個人で望む自立の形は違いますが、すべての市民があるサービスを利用して上手くご自身が望む生活を長く続けられるようなサービス、寄り添いが市にあればと思います。</p> <p>最後の質問になります。後期高齢者の多くは自立不能、家族介護不可能により、施設入所、望まない最後の時間を過ごしている方もいらっしゃいます。これから増える高齢者が地域で暮らし続けるための仕組み作り、在宅支援サービスの充実、家族介護の負担軽減など自立した生活を継続するため、加西市として取り組まれていることをお聞かせください。後期高齢者が増えていく中で個人の尊厳をどのように守っていきますか。</p> <p>高齢者ご自身の状態により、生活の場として在宅を選択できない場合もあると認識をしていますが、まずは住み慣れた場所でその方らしい、望む生活ができるよう、介護保険サービスをはじめとした充実ということが必要だと考えます。ご本人ができる、いわゆる自助という部分を維持していくことが必要です。しかしながらそれだけでは維持できないと言うところで施設入所も必要となってまいります。</p> <p>介護サービスについては、特に人員不足が言われております。介護の現場での様々な検証について市の職員が対応や、市外から介護のために職業をもとめて来られる方について一定の補助、家賃補助等を行うと言うような支援もしています。しかしながら、状態によって施設入所と言う事も出てくるかと思えます。そういうことも含めて少し説明します。介護保険を行うすべての事業者、施設の職員等も含め、要介護者の人格を尊重するとともに、介護保険法やこれに基づく命令を遵守し、要介護者のために忠実に職務を遂行しなければならない。また、設備、運営基準に従い、要介護者の心身の状況に応じて適切なサービスを提供するとともに、自らサービスの質の評価を行うこととその他の措置を講ずることにとり、常にサービスを受ける者の立場にたってサービスを提供するよう努めなければならないと定められています。これらに基づき、各施設は、自助努力をされているところであります。また、施設入所者について、個別支援計画は策定され、その方の状態やご希望に沿った支援が実施されていると認識しております。地域包括ケアではその方らしい生活の維持のために関係機関の連携も謳われており、加西市においても生活の場で、その方らしい生活が維持できるよう、支援を実施しているところです。具体的にはそれぞれの施設、事業者等では、従事者の資質向上のために個別研修や合同研修を実施していますが、そういった内容が適正に行われているかということ介護の現場で定期、不定期に実地指導を実施しております。また、ご本人の希望や困りごとを市民目線で聞き取り、施設に伝えることで、希望をかなえ、その方らしい生活を維持していただくため、市民の方に実際に施設に訪問していただき、会話</p>
--------	---

## 女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

	森由紀	<p>の中から要望などを聞き取って頂く、あったか介護相談員の派遣を介護保険の始まった、平成12年より開始しており、現在も継続しております。ご利用者のみならず、施設職員からも、日常の会話からはなかなかつかめないご本人の思いを聞き出していただくことでご本人の意思を尊重した介護ができると好評いただいております。</p> <p>後期高齢者だけでなく、人はそれぞれ個別の意志が尊重され生活を送るべきだと考えています。その中には地域のご自身の生活の場、自宅を選択したいと言う思いの方もたくさんおられるかと思いますが、身体的、精神的、社会的な変化によってご自身の希望がかなわず、住み慣れた自宅を離れることになり、施設への入所や医療機関への入院など、お一人の生活の中でも生活の場や支援の方法が変化していくということが特に後期高齢者では若年の方よりも多いと認識しています。このような状況を少しでも少なくするために、まずはご自身の心身の状態の悪化を予防し、そういった事が出来る内容を提案していくことも大切だと思っております。また、変化が起こった時にもその人らしい維持に努め、施設への入所となった場合であっても加西市民としてご本人が選択して満足できる生活が維持できるよう、地域包括ケアの充実を図り、関係機関とも十分な連携を図ることで、切れ目のない生活維持確保と安心の提供を行い個人の宣言の継続ができるように努めていきたいと考えていますので、今後ともそういったことについて、ご意見やご助言を頂ければありがたいと考えています。</p> <p>ありがとうございます。先日出会った後期高齢者の方が、年を取るとはなんと寂しいことかとおっしゃっていました。迎える高齢化社会で、多くの方がそのようなさみしい思いをしなくていい様に体力づくり、社会参加、生活支援、垣根を超えた横のつながりなど、楽しく暮らし続けられる優しいまちづくりを加西市には期待しています。</p>
--	-----	---